

日本の文化を世界に発信するための 国立京都国際会館の機能強化について

【担当省庁】厚生労働省、国土交通省

京都府・京都市共同提案

国立京都国際会館の拡張のための調査・設計費等を計上していただいているが、日本の文化芸術の魅力を世界へ更に発信するために、国際会議場の国際標準である 5,000名規模の多目的ホールへの一刻も早い拡張整備をお願いしたい。

また、WITH・POSTコロナ時代に、国際会議の「新常态」となると見込まれるハイブリッド型コンベンションを高いレベルで実現できる、情報通信基盤の早期整備をお願いしたい。

併せて、外国人の入国制限に関し、国際会議の誘致や開催を円滑に進められるようなルールの検討をお願いしたい。

【現状・課題等】

- 近年の国際会議の大規模化等により、十分なスペースが確保できず、京都での開催を希望されていても断念するケースが見受けられる。

開催年	国際会議名	要請スペース	開催地
平成 25 年度	国際小児科学会	5,000 人規模の会場スペース 12,000 m ² の展示場	オーストラリア
平成 25 年度	国際腎臓学会	3,000 人規模の会場スペース 10,000 m ² の展示場	香港
平成 26 年度	世界心臓学会	5,000 人規模の会場スペース 10,000 m ² の展示場	オーストラリア
平成 28 年度	国際心理学会	5,000 人規模の会場スペース	横浜
平成 29 年度	国際眼科学会	5,000 人規模の会場スペース 5,000 m ² の展示場	東京
平成 30 年度	世界心臓学会議	5,000 人規模の会場スペース	ドバイ
令和元年度	世界肺癌学会	5,000 人規模の会場スペース	トロント
令和 2 年度	国際インプラント学会	5,000 人規模の会場スペース	シンガポール

京都府 の担当課	知事直轄組織 国際課 (075-414-4313)
-------------	---------------------------

【国の事業等】

■官庁営繕事業〔国土交通省〕 1.52億円

■新型コロナウイルス感染拡大以降の国際会議の状況

▶ JNTOのMICEアンバサダーへの緊急調査結果

○予定されていた国際会議について71.4%が変更ありと回答。うち延期が62.5%、中止が35%、オンライン開催20%、一部オンライン開催12.5%、その他25%（同一回答者が複数回答あり）

○回答者の98.2%が今後の国際会議の在り方に変化が生じるとし、そのうち76.3%が会議のハイブリッド化が進むと回答

▶ WITHコロナ時代において、大型会議もオンラインで開催されるようになるとともに、社会経済活動も再開されてきており、現地開催とオンラインの両方のメリットを活かせるハイブリッド型国際会議の事例も増えつつある。

○ハイブリット型の事例

- ・第49回日本IVR学会総会（令和2年8月、神戸）
- ・第99回日本消化器内視鏡学会総会（令和2年9月、国立京都国際会館）
- ・2020年アジア太平洋医療技術バーチャル・フォーラム

（令和2年9月、シンガポール）

▶ 京都コンgres（令和3年3月）では、ライブ配信のため10Gbpsの回線が2回線必要であったが、京都府には法人用の10Gbps回線の基地局がなく、主催者が臨時で回線を敷設せざるをえなかった（主催者の負担になり、国際会議誘致にはマイナスポイント）。

■国立京都国際会館の概要

▶ 所在地 京都市左京区岩倉大鷲町422番地（敷地面積156,000㎡）

▶ 主な施設一覧

建築概要	構造等	竣工・開館年月	延床面積
本館	地下1階，地上6階，塔屋2階	昭和41年5月	33,641㎡
	(増築：地下1階，地上3階)		
イベントホール ロジ（宿泊棟）	地下1階，地上3階	昭和60年4月 昭和61年5月	8,608㎡
アネックスホール	地下1階，地上3階	平成10年3月	4,146㎡
ニューホール	地下1階、地上2階	平成30年6月 平成30年10月	4,527㎡